

平成21年度 第101回 教育研究審議会議事要録

日時 平成21年6月23日(火) 13:30~14:40
場所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 矢田学長、近藤副学長、松藤副学長、中野副学長、尾上事務局長、伊藤外国語学部長、白石経済学部長、松尾文学部長、山本法学部長、梶原国際環境工学部長、漆原基盤教育センター長、横山社会システム研究科長、齋藤マネジメント研究科長、晴山都市政策研究所長、田村(慶)学術情報総合センター長、田部井学生部長、木原国際教育交流センター長、田村(大)入試広報センター長、隈本学術情報総合センター副センター長、上江洲地域貢献室副室長、大平評価室副室長

配布資料

- 1 欠員補充申請書(社会システム研究科)
- 2 特任研究員等の選考について(国際環境工学部)
- 3 名誉教授授与規程に関する了解事項
- 4 名誉教授の称号授与について
- 5 第2期中期計画検討プロジェクト(案)
- 6 平成21年度国際環境工学部GPA賞
- 7 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

第99回教育研究審議会の報告事項「平成22年度入学試験スケジュール」に関して、中野副学長から、再入学については、22年度再入学まで従来の方式を併用し、23年度以降の再入学は入試広報センターで検討することになった旨の説明があった。

第1号 教員の採用について

* 資料1のとおり、社会システム研究科からの申請に基づき、平成22年3月31日付けで定年退職する井原健雄教授の後任として、地域科学研究担当教員1名の欠員補充について提案。

● 社会システム研究科所属の教員5名は、3名が地域社会領域、2名が東アジア社会圏領域を担当し、思想文化領域には所属教員が1人もいない。こうした教員配置はバランスを欠いており、思想文化領域の運営委員全員が学部教員であり、負担にもなっている。

今後の人事計画を考えて、地域社会領域ではなく思想文化領域の教員を補充する選択肢はなかったのか。

○ 今回は、在籍する学生への教育上の配慮として、井原教授と同じ専門分野での教員補充とした。ご指摘の点は、来年度、地域社会領域の教員が1名退職するので、その後任補充の際に検討する考えである。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

第2号 特任研究員等の選考について

* 資料2のとおり、特任教授1名及び特任研究員3名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第3号 名誉教授授与規程に関する了解事項について

* 資料3のとおり、名誉教授授与規程に関する了解事項について提案。

- 提案の了解事項は、授与規程の選考基準のうち、「本学の教授として、教育上又は学問上功績が特に顕著であった者」を明確にし、今後の運用を厳正にしていくためのものである。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第4号 名誉教授の称号授与について

* 資料4のとおり、7名への名誉教授の称号授与について提案。

- 一部の対象者の経歴について、名誉教授の選考基準に影響のない範囲ではあるが、学部名、在職年数の換算率、換算年に誤りがあり、修正する。

【議長】修正点も踏まえ、提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第5号 第2期中期計画検討プロジェクトについて

* 資料5のとおり、第2期中期計画検討プロジェクトについて提案。

- プロジェクト組織は、各部局単位で検討していく「部局検討グループ」、全学共通事項を検討する「全学組織検討グループ」、管理運営事項を検討する「管理運営検討グループ」と、これら3グループの提案をとりまとめる「草案作成委員会」で構成する。

「草案作成委員会」の委員となる部局検討グループ及び全学組織検討グループの運営委員各5名の選出にあたっては、学部バランスに配慮した。

- 第2期中期計画（平成23～28年度）は、本来、市が定める第2期中期目標に基づき策定するものであるが、先行してプロジェクト組織を立ち上げ、大学として明確な方針を持って主体的に取り組む。とりわけ、次の中期計画期間を担う世代の教員を中心に、自ら作り、自ら行動する計画としたい。

その意味で、部局に設けるワーキンググループは、若手教員を中心に十分ディスカッションをして、6年間何をやっていくのか考えてもらいたい。

- 管理運営検討グループでは、基盤教育センターなど北方とひびきの両キャンパスにまたがる組織運営のあり方についても検討してもらいたい。
- 部局検討グループの運営委員構成こそ学部バランスを図るべきで、社会科学分野の経済学部長、法学部長がいないのはバランスを欠いているのではないか。
- 草案作成委員会の中で学部バランスをとっている。あくまで計画の骨格を作るのは各部局である。原案で理解願いたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 平成21年度国際環境工学部GPA賞について、資料6のとおり報告があった。
- ② 教員の海外出張について、資料7のとおり報告があった。
- ③ 次回の審議会を7月7日（火）に開催する予定である旨、報告があった。